



認知症に関する体制整備事業

認知症予防事業

認知症予防の調査・研究を行い、認知症予防に効果的な事業開発とその予防策を普及させるため、認知症予防の拠点機能を中心とした産学官民が連携する仕組みづくりを進めます。

1. 全国の自治体で初の予防に特化した専門機関「認知症予防センター（仮称）」等の拠点機能の整備、認知症予防事業の企画会議、ワーキングの実施
2. 認知症に関する動向等を把握するため、市民に対する調査の実施
3. 市民、関係者等に向けた認知症予防後援会、認知症理解と予防について啓発事業の実施

徘徊認知症高齢者の搜索模擬訓練事業

認知症による行方不明者の人をできるだけ早く安全に保護する為、市民の認知症理解を深めると共に、地域における見守りや連携体制を構築し、日常的に実践できる体制づくりを目指します。



成年後見制度利用促進事業

1人暮らしの高齢者や認知症高齢者が増加する中、成年後見制度を必要な人が利用につながる地域連携ネットワークを構築し、市民が認知症により判断能力が低下しても、安心して暮らすことができる街を目指します。



静岡市議会 厚生委員会委員長報告



平成30年の2月定例会本会議において厚生委員会の審議結果を本議会へ報告いたしました。

生涯活躍のまち静岡推進事業では、地域の誰もが、健康でアクティブな生活や、社会活動への参加を通じて、生涯活躍できる環境づくりに取り組み、住み慣れた地域でできる限り健康で自分らしく暮らすことができるように事業を進めるべきであるとの意見や、シニアの方々が、活躍するためには生活基盤の安定が必要であり、そのためには高齢者の就労促進事業の推進が必要であるとの意見がありました。

また、歯と口腔の健康が全身の健康の保持・増進に重要な役割を果たしていることを広く市民に周知し、市をはじめとした関係者間の連携のもと市民の歯と口腔の健康づくりを推進する、「静岡市歯と口腔の健康づくりの推進に関する条例」を審議し満場一致で承認をいたしました。

厚生委員会委員長 石井 孝治



副代表
風間 重樹

幹事長
安竹 信男

代表
白鳥 実

副代表
石井 孝治

創生静岡 始動！！

平成31年2月14日 私たち静岡市議会議員4名は新会派「創生静岡」を結成いたしました。「創生静岡」は低迷している静岡市において、新たな価値の創造、地方主権の確立、市民中心の政治を通して静岡市を再生させる事を目的としております。

行政と市議会は両輪とよく言われます。行政の施策・予算等をチェックし、時には厳しく指摘し、正しい方向に導くために助言をすることが議会の仕事であります。しかしながら現在の静岡市議会において、議会が十分な発言力を持っているとは言い難い状況です。私たち「創生静岡」は良いことはよい、変えるべきことは即変える、是々非々の姿勢で議会活動を進めていきます。

4名の会派ですが、静岡市議会に新しい風を吹き込むべく活動してまいりますので、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

静岡市議会議員 石井孝治

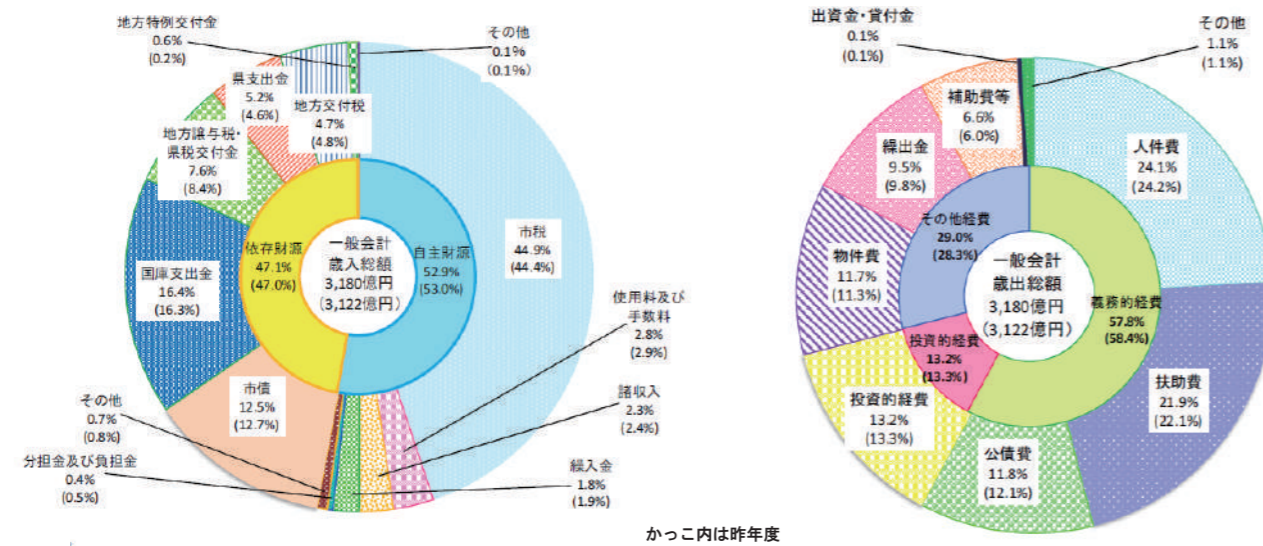
静岡市 平成31年度予算の概要

一般会計 3,180億円 (対前年度 58億円増 +1.9%)

全会計 6,225億円 (対前年比 56億円減 △0.9%)

予算の背景

平成31年度の静岡市財政は、歳入においては市税、地方交付税などの一般財源総額の大幅な増加は見込みにくい状況にあり、歳出においては、引き続き、自立支援給付費や介護保険事業会計繰出金などの社会保険関係経費の増加が見込まれ、財政運営は厳しい状況にあります。



財政の中期見通し

歳入の見通し

市税収入は、税制改正による減収はあるものの、緩やかに回復すると見込んでいます。地方贈与税・県税交付金等は、消費税率の引き上げによる収入を見込んでいますが、地方交付税（臨時財政対策債を含む）が減少するため、一般財源総額は、ほぼ横ばいで、推移していくと見込んでいます。

歳出の見通し

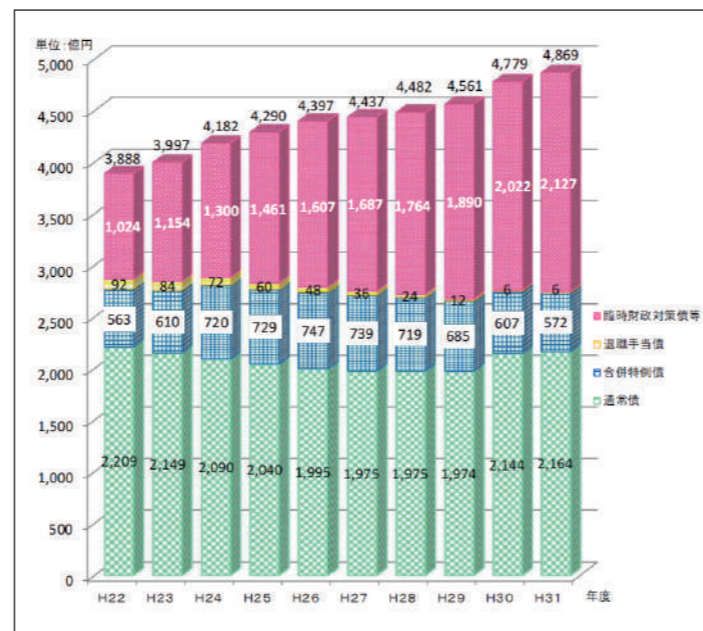
自立支援給付費などの扶助費及び第3次総合計画の推進による投資的経費が増加していくため、全体として歳出総額は増加傾向で推移していくと見込んでいます。

財源不足額の見通し

市税や地方交付税などを合わせた一般財源の大幅な増額が見込まれない中、自立支援給付費などの扶助費や投資的経費、繰出金の増が見込まれることから、平成32年度以降は、70億円程度の財源不足が発生し、引き続き財政運営は厳しい状況にあると見込んでいます。

市債について

平成31年度市債は約399億円
(対前年度比 +2.7億円 +0.7%)
市債残高は約4,869億円（31年度末見込み）
一人当たりの市債残高は約693,000円となり、引き続き、財政規律を維持し健全化を一層推進する必要があります。



平成31年度 重点施策

「創造する力」による都市の発展（産業・経済の振興）

歴史都市 23.9億円

- ①400+プロジェクトの推進（駿府城公園エリアの整備等）
- ②東海道歴史街道の推進
- ③三保松原の保全と活用



文化都市 34.2億円

- ①東静岡・草薙地区の賑わい創出
- ②清水港ウォーターフロントの活性化と整備促進
- ③「まちは劇場」の推進とオクシズ・しずまへの振興

中枢都市 77.2億円

- ①首都圏等からの移住・定住の促進
- ②MICEの推進等による交流人口の拡大
- ③戦略産業への支援・育成

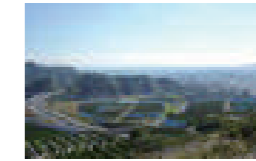
交流人口の拡大

- ・（仮称）三保松原保全研究機構の活動支援
- ・ラグビーワールドカップ合宿の受け入れ
- ・日本平動物園50周年記念事業



中小企業の振興や農業の活性化

- ・中小企業のIT導入に向けた相談体制整備
- ・清水港周辺の地域活性化施策検討
- ・畑地帯総合整備事業検討地区の事業性調査実施



「つながる力」による暮らしの充実（安心・安全の確保）

健康都市 295.5億円

- ①健康長寿のための地域包括ケアシステムの構築
- ②静岡型子ども・子育て支援の推進
- ③健康都市の実現に向けた基礎整備

共生都市 28.8億円

- ①多様な人々による共生
- ②南アルプスユネスコエコパーク・自然との共生
- ③街づくりは人づくり・シチズンシップ

防災都市 138.2億円

- ①災害対応力の強化と危機管理体制の確立
- ②浸水・土砂災害対策の拡充
- ③再生可能エネルギーの導入・普及促進

子ども・子育て支援の充実

- ・妊娠を希望する女性への風疹予防接種
- ・高校生世代への子供医療費助成拡大
- ・不登校児童・生徒の家庭への訪問相談員の配置



健康長寿のまちの推進

- ・認知症予防に向けての体制整備
- ・歯と口腔の健康づくり推進
- ・高齢者就労促進のためのワンストップ窓口開設
- ・静岡のブランド食材を取り入れた給食プロジェクト

災害対応力の強化

- ・緊急防災ラジオの普及促進
- ・防災マップの避難所場所情報の更新
- ・災害情報を収集・発信するシステムの構築



【静岡市緊急情報防災ラジオ】

